



管理課より

「学校における働き方改革推進プラン」の改定

千葉県教育委員会は、学校における働き方改革の目的と学校における働き方改革推進プランの位置付けを、「教職員が心身ともに健康を保つことができる環境を整え、子供たちの成長に真に必要な、効果的な教育活動を持続的に行うことができるようにする。」とし、令和6年3月に改定しました。

以下に、改定された本県の目標を示しますので御確認ください。



従前の目標である「条例等で定める勤務時間を超える在校等時間が、1か月あたり45時間、1年あたり360時間を超えないようにする。」を原則とし、それに加え、各取組についてポイント制にし、達成率について、令和5年度末の数値を令和8年度末までに、さらに10ポイント改善できるように段階的に引き上げることを目標とする。

◎教職員の働き方改革に係る意識調査結果（抽出）及び今後の数値目標

調査時期	子供と向き合う時間を確保できている	勤務時間を意識して勤務できている
R3.12月	64 %	79 %
R4.12月	64 %	76 %
R5.12月	61 %	76 %
R6年度	64%以上 (R5年度末より3ポ ^ン ト以上)	79%以上 (R5年度末より3ポ ^ン ト以上)
R7年度	66%以上 (R5年度末より5ポ ^ン ト以上)	81%以上 (R5年度末より5ポ ^ン ト以上)
R8年度	71%以上 (R5年度末より10ポ ^ン ト以上)	86%以上 (R5年度末より10ポ ^ン ト以上)

令和3～5年度の調査等を踏まえ、具体的な取組内容を更新しましたので、校内研修等で有効に御活用ください。

また、さらに働き方改革を推進すべく、スクール・サポート・スタッフの小・中・特別支援学校（小・中学部）の全校配置や、業務改善DXアドバイザー配置事業、副校長・教頭マネジメント支援員の配置等についても、令和6年度から予算化しました。東上総教育事務所管内においても配置の拡大に努めてまいります。

総務課より

認定手当の事後確認について

事後確認とは、認定手当の支給要件や支給額が適正であるかを確認するために行います。特に、扶養手当は見込状態で支給される手当なので注意が必要です。例えば、年の初日から対象である不安定収入者においては、1年間（暦年）の総収入をもって所得とし、所得限度額（130万円）未満であれば当該1年間の扶養手当は認定することができます。しかし、当該所得が所得限度額（130万円）以上となった場合は、当該1年間の扶養手当を認定することはできません。

したがって、扶養手当は年の当初に遡って戻入となります。扶養手当が誤って支給された場合、地域手当や期末手当、所得税にも影響を及ぼす恐れがあるため、誤支給を早期に発見し、適切に処理を行うために、御協力よろしくお願ひします。



指導室より

「千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保に関する施策を総合的に推進するための基本方針」策定（令和6年3月29日）

令和5年4月1日に施行された「千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保を支援する条例」に基づき、「千葉県不登校児童生徒の教育機会の確保に関する施策を総合的に推進するための基本方針」が策定されました。基本方針では、「『学校に登校する』という結果に着目するのではなく、児童生徒が抱える悩みや課題に、焦らず、児童生徒のペースを尊重し、寄り添い続けサポートすることが重要」とされています。魅力ある学校づくりや不登校児童生徒に対する教育機会の確保等についてもうたわれていますので、右記の二次元コードより内容の確認をお願いします。

また、東上総教育事務所相談室についても積極的にご利用ください。

（住所：茂原市八千代2-10 TEL:0475-23-4460）



公開研究大会 開催のお知らせ

道徳教育研究大会（同時開催）

第58回 関東地区小学校道徳教育研究大会千葉大会

第41回 千葉県道徳教育研究大会

大会主題

自己を見つめ、考え、共によりよく生きる子どもを育てる道徳教育

記念講演

自己を見つめ、考え、共によりよく生きる子どもを育てる道徳教育の推進・充実（仮）
講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田 竜次 様

期日：令和6年11月29日（金）
場所：長柄町立日吉小学校

詳しい時程や申し込み方法等は一次案内をご参照ください。



技術・家庭科研究大会

第63回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 千葉大会

研究主題

生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成
～ 主体的・対話的で深い学びを通して ～

期日：令和6年10月24日（木）全体会・オンライン
10月25日（金）分科会・県内9会場に参集
場所：横芝光町立横芝中学校（第8分科会【消費生活・環境】）

第8分科会以外の分科会は県内の他市町で開催となります。

指導・講評

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

渡邊 茂一 様
熊谷有紀子 様